

# JWAF journal

2026

1

日本勤労者山岳連盟

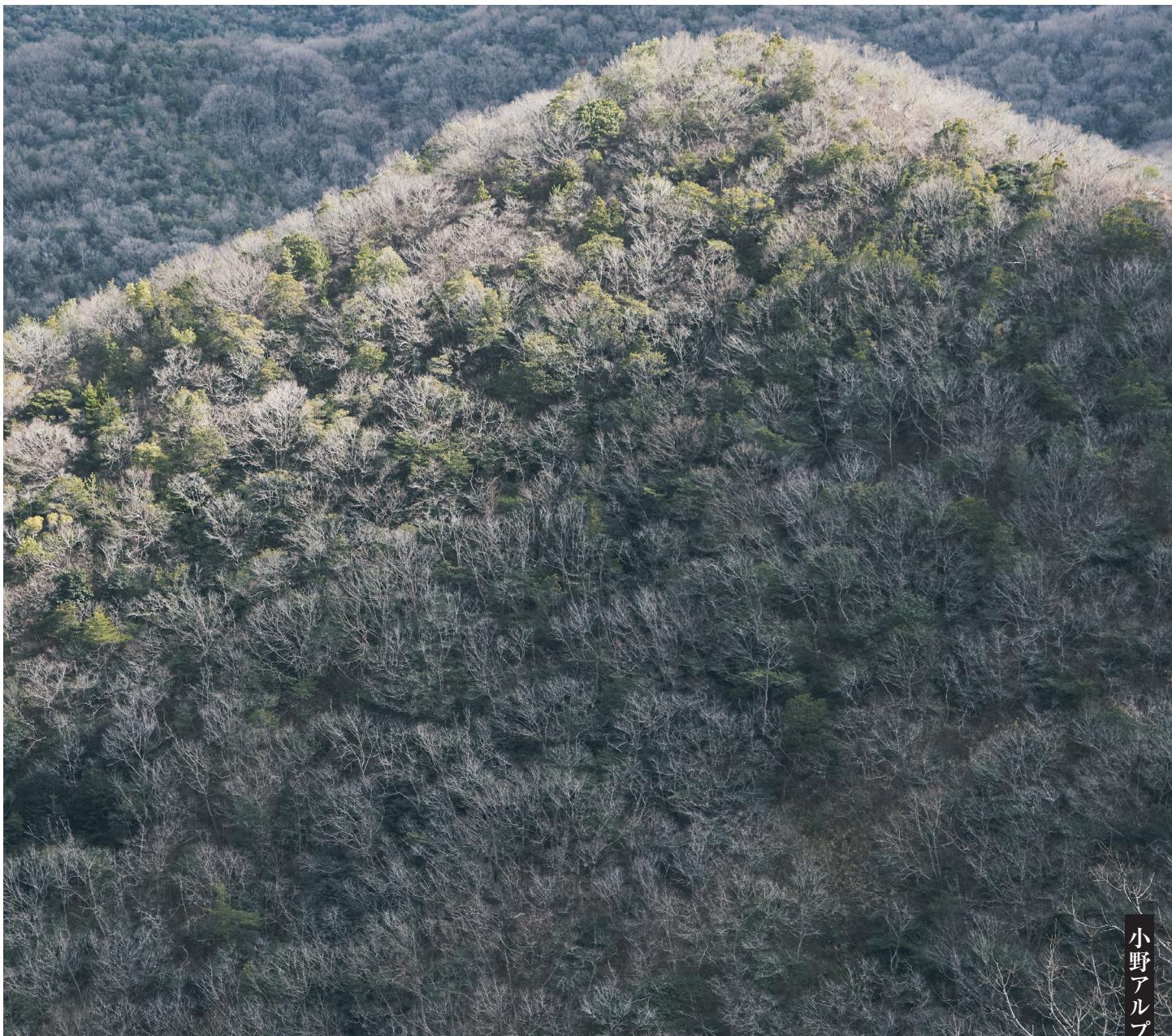
日本勤労者山岳連盟 Japan Workers Alpine Federation

〒 162-0814 東京都新宿区新小川町 5 番 24

TEL : 03-3260-6331 FAX : 03-3235-4324

Mail : jwaf@jwaf.jp

発行責任者／川嶋高志 発行年月／2026 年 1 月



「冬、山は眠る」

年が明けてまもなく家から程近い小野アルプスに行った。静かな山道を歩くとしばらくして尾根に出た。その場所から向かいに見える山は、冬の木々に包まれて穏やかに見えた。この山は眠っている。そう思った。

(林弘幸・須磨勤労者山岳会／兵庫)

- 役員行動費の架空・過大請求
- 基金運営委員会からのお知らせ

# 役員行動費の架空請求・過大請求の発覚

2025年2月に行われた第36期（下期）第一回評議会で、役員2名の罷免を求める3号議案として提案されたので、全国から集まった評議員は「誰が一体どんな内容を行ったのか」と疑問を持ち一様に驚いた。最終的には罷免の提案議案は保留となり決議には至らなかったが、現在も、当該役員と全国理事会は不正に受け取った行動費について返還を求めて交渉中である。しかし、会員から本件について、その後どうなったのかという声が寄せられているので、公開できる範囲でお伝えすることとしたい。

※全国連盟役員は、会長（副）、理事長（副）、理事、事務局長、監事で構成される。

## <これまでの経緯>

2024年9月の第7回理事会において、2名の役員ABによる役員行動費の使い方について不適切だという指摘があった。これを受け翌10月開催の第8回理事会で「役員行動費等調査委員会」が設置され、八木澤理事を委員長とする6名の全国連盟理事で発足した。この調査委員会で当該役員2名の2024年1月から8月までの役員行動費請求について確認を行った。その結果、交通費請求などに関連する不適切な記述が確認された。これは①架空請求、②過大請求、③その他に分類される。

また、役員行動費の返金請求などが行われていないにもかかわらず、全国連盟事務局宛にAは7万円、Bは11万円を仮払いと称して、返金してきた。

この事実をもって12月19日開催の第10回理事会では連盟規約第29条による「役員の活動停止、および架空請求と過大請求の返金請求」が発議され、2025年1月23日の第11回理事会で承認された。ただし、過大請求部分については2人とも納得がいかないところで、調査委員会と今なお交渉中である。

なお、2026年2月に開催される第37回総会において、調査委員会の報告内容と返金状況などを公表する予定である。

## <過大請求と架空請求の返金請求の内容>

住民票のない別荘からの交通費を請求しているが、通常は住民票の登録があり、住民税を納め、選挙権行使するところを居住地とすることが一般常識である。一般常識に基づいて別荘からの移動費用は自己負担することを条件とした場合の請求額は、Aの場合は131万2,680円になる。これから本来の住民票のある居住地からの請求11万9,320円を調整すると119万3,360円となる。この金額は2019年から2023年までの期間を調査したものである。

役員Aは「前々理事長との口約束で、別荘からの交通費支給を条件として役員に就任した」と主張している。仮に、これを認めても全国役員内規で使用不可としているグリーン車利用と既に廃線になったバス利用代の架空請求があった。しかもグリーン車自由席を指定席と虚偽記載して請求していた。このグリーン車利用料金2,000円×88回の合計は20万1,120円。廃線になったバス利用代とグリーン車の請求は、2023年のみであるが5件5,500円。合計20万6,620円の架空虚偽請求である。

役員Bについて述べる。役員Bは本来の居住地から別荘に移ったのは最近のことなので、該当調査期間は2023年から2024年の期間である。役員BもAと同じで、別荘からの交通費請求が14万9,740円で、本来の居住地から全国連盟事務所に来所したとする交通費は2万7,200

円なので、差し引くと 12 万 2,540 円の過大請求となる。この中には A と同様にグリーン車と既に廃線になったバス利用代などの請求が、2023 年で 57 回 2 万 8,500 円、2024 年が 57 回 4 万 7,050 円の計 114 回 7 万 5,550 円の架空虚偽請求がある。

### <その他の内容>

両名とも交通費以外に日当の二重請求、常識外での講師謝礼手当の請求があった。また、出張の場合の朝食代、昼食代、場所代、懇親会費用の請求などがあった。

このうち代表的な事例として、2022 年の「山の日」全国大会・山形について、宮城・山形県連盟との懇親会は、出席者間の申し合わせとして、全国役員も懇親会費を自己負担で参加することを事前に確認した。それにも関わらず役員 AB は 2 週間後に全国連盟へ請求した(他の全国役員 3 名は申し合わせ通り懇親会費を請求していない)。

しかも役員 B は A の別荘に前泊、帰路の車中 1 泊と記念行事に關係なく日当を請求、さらにグリーン車自由席を指定券と虚偽記載の請求もしていた。全国連盟役員はボランティアとして活動

しているのに対して、役員 AB の両名は公務で活動していると主張して、このような行為を繰り返し行ってきた。

### 【補足事項】

#### <役員の活動停止、罷免の規定>

連盟規約第 29 条「この連盟は、連盟の名誉と団結を著しく損なう行為があった場合は、理事会の決定で役員の活動停止、評議会の決定で役員の罷免を、総会の決定で加盟団体の除籍をすることができる。ただし、これらの決議は出席者の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。」の条項により、理事会の決定で役員の活動停止を、全国評議会では「役員の罷免」を決議できる。

全国連盟役員は社会的道義を守ると共に全国連盟の団結を守り、全国連盟として連盟員の信頼を得られるように活動・行動することが求められる。上記 2 名はこの連盟規約に反していることは明らかである。

文責 副理事長 今野善伸

## 基金運営委員会からのお知らせ

労山基金規定の細則の改定について以下のように改定したので、海外登山の計画書を提出する方は留意してください（下線が追加内容です）。全国連盟海外委員会宛の登山計画書が確実に送付できているかを提出者自身が提示するようにしたものです。

海外登山（トレッキングを含む）中の事故に対して交付を必要とする場合、登山計画書を事前に全国連盟海外委員会へ提出しておかなければならない。なお、ファクシミリや郵便、電子媒体による提出においては、全国連盟海外委員会に着信していることを提出者自らが確認するとともに、受理されたことを記録しておかなければならない。トレッキングとは異なる 5,000 メートル以上の高所登山および、すべてのバリエーション登山等については、労山基金加入から 1 年以上経過した会員に対して交付対象とする。

※細則－2 [山行規定] 4 項 海外登山の規定は 2025 年 10 月 30 日から施行されました。

11月1日から11月30日までに届いた

件数	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	2025/10/12	埼玉県	47	男性	御嶽山	沢登り	下山遅れ	1泊2日の計画、時間を超過して緊急ピーカーを行った。翌日予定通りのルートで、1日遅れで下山した。	無し
2	2025/10/19	群馬県	64	男性	四阿山	無雪期	転倒	山頂から下山開始して分岐後直下の木道の階段を降り始めて数段降りた所で、右足をついた階段から滑って、一段下の階段の隙間に足が嵌り、そのまま前向きに転倒した。右足首は強い痛みがあったが、ゆっくりと自力下山。翌日診察した結果、骨折(ひび)と判明	右足関節内果骨折・左指示中節骨折
3	2025/10/25	兵庫県	57	女性	石鎚山	無雪期	転倒	ななめにかたむいた大きな岩を歩く際、岩がぬれていたため滑って転倒。その際、右足が岩のくぼみにひっかり曲がった状態で転倒。	右脛骨髄骨骨幹部骨折
4	2025/10/26	東京都	31	男性	双子山	登攀	転・滑落	ニ子山弓状エアリア おいしいよ 5.12cのトライ中、スタートのガバがすっぽ抜けて2m程フォール。1ピン目はまだクリップできる高さではなくそのままグラウンド。	右手首骨折
5	2025/10/27	東京都	72	女性	黒斑山	無雪期	転・滑落	トーミの頭を通過し、黒斑山へは向かわずに、湯の平分岐に向かって急な「草すべり」を下降中の間地点付近、岩が露出している場所で、岩から足を踏み外し転倒。高さ3mのほぼ垂直な草付き斜面を2~3回転しながら滑落。休憩後、自力下山。下山後受診、胸椎圧迫骨折他で即入院。	第11胸椎圧迫骨折、他
6	2025/10/29	和歌山県	71	女性	木梶山	無雪期	転倒	林道下山中、浮石に足を取られ転倒、左足首をひねり、向う脛を打った。	左足首骨折
7	2025/11/04	福岡県	77	女性	宮之浦岳	無雪期	その他	下山中に歩行困難になり、随行1人残し、他11人は下山。警察に救助要請。下山口まで救助隊に背負われ下山。事故者と随行の2人は当日帰宅できず宿泊し、翌日帰路に就く。	歩行困難
8	2025/10/29	東京都	71	女性	室内ジム	人工壁	転・滑落	ボルダーでフットホールドで滑って不意落ちした際巨大なホールドに胸をぶつけ強打。肋骨2ヶ所の痛みが酷いので整形でレントゲンの結果、肋軟骨骨折との診断。	肋軟骨骨折
9	2025/11/02	大阪府	66	女性	那須岳	無雪期	転倒	大峠から三斗小屋に向かう山道で三つ目の渡渉地点に下る残置ロープの斜面を下る途中で足下が滑り胸を岩に強打た。	左肋骨上から三番目の骨折
10	2025/10/18	宮城県	72	男性	岩岳	無雪期	転・滑落	岩岳の山頂直下の急坂でバランスを崩して転落し、右足のくるぶし付近を立木か岩に	右足腓骨骨折
11	2025/11/08	福岡県	72	女性	涌蓋山	無雪期	転倒	頂上から急斜面を下山し林道に出る、ホットしたのか話が弾み小石の多い道を歩行中石に躊躇、左足首骨折。	左足首骨折
12	2025/11/05	道央地区	67	男性	(クライミングジム)アカラクライム	人工壁	転・滑落	ボルダリングジムにて、垂直壁で右足を支点に左上方向へランジを試み、左手でホールドを取りに行つたが失敗して落下。その際、落下地点の大きめのホールドに左足を強くぶつけ、左アキレス腱を断裂。	左アキレス腱断裂
13	2025/11/08	東京都	65	男性	檜洞丸	無雪期	転倒	未明るくなつた頃、石棚山稜方面の紅葉に見惚れ石に躊躇左足膝を打った。翌日腫れてきたので過明け検査、お皿一部に翳りあり。	左足膝皿骨折
14	2025/11/13	新潟県	73	男性	月山	無雪期	転倒	下山開始後約2時間石に躊躇、転倒。	頭部裂傷・腰捻り
15	2025/11/08	香川県	79	男性	いの町程野の滝	無雪期	体勢	8日13:00頃、西滝の下部で幅1m深さ20cm位の沢を渡渉中、足元が滑りやすい石で足元に気を取られ、左手を預ける岩に目をがいかず、手元が滑って左薬指の根もと附近を骨折。	左環指基節骨骨折
16	2025/11/08	東京都	73	男性	エベレスト街道	海外トレッキング	高度障害	山中7泊の7日目の朝より目眩等の症状が出ていたが3時間ほど歩いた。症状は嘔吐なども加わり歩行困難となった。ヘリコプターによるカトマンズへの下山を選択。カトマンズ市内「ERA」インターナショナルホスピタルにて2泊治療。	高山病
17	2025/11/08	道央地区	26	男性	函館山	登攀	転・滑落	リードクライミング中に足が滑り1m程度フォール、その後に左肩に負荷がかかり、脱臼のような症状になる。数日後、痛みがあるため診察、非常に脱臼しやすい状況になっていると診断。	左肩関節亜脱臼
18	2025/10/23	福岡県	78	男性	鳴川山	無雪期	その他	登山道を塞ぐ倒木を伐採し、除去。数人で協力して切断した数十キロある木を除去・運搬作業した結果、背中に痛みが発生。11/14病院を受診して骨折が判明。	背骨の骨折
19	2025/11/15	兵庫県	53	女性	百丈岩	登攀	落石	3人パーティで百丈岩右カンテをアイゼントレーニング中、2ピッチ目で落石があり、サードで登攀していた自分の左手に直撃した。	人差し指・解放骨折、中指、薬指外傷骨折
20	2025/11/16	奈良県	57	女性	天和山	無雪期	転倒	天和山(1284メートル)の山頂をて休憩の後、11:40より下山。標高800メートル辺りで、伐採された枝に右足を取られて、身体の右から転倒した。	肋骨骨折(右側1本)
21	2025/11/18	道央地区	64	女性	野岳	登攀	転・滑落	フリークライミング中、1ピン目かけようとして右足に乗り込もうとして滑って右足から落下。	右踵骨骨折

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	1	1	1	0	3	5	0	0	11
女性	0	0	0	3	2	5	0	0	10
合計	1	1	1	3	5	10	0	0	21
形態	無雪期	積雪期	人工壁	山スキー	登攀	沢登り	訓練	軽トレッキング	合計
男性	6	0	1	0	2	1	0	1	11
女性	7	0	1	0	2	0	0	0	10
合計	13	0	2	0	4	1	0	1	21
原因	転倒	転・滑落	体勢	落石	疲労	病気	下山遅れ	その他	合計
男性	3	4	1	0	0	1	1	1	11
女性	5	3	0	1	0	0	0	1	10
合計	8	7	1	1	0	1	1	2	21
その他歩行困難1、疲労骨折1									
その他無い1、									

## 登山時報 2026 年冬号のご案内(発行予定 2026.1.25)

【特集】海外山行 四川省『四姑娘山』山行 ／ボランティア 万計山荘

おすすめ温泉 ／活動報告 第 19 回全国登山集会 ／役員行動費問題など



万計山荘より



個人購読・受付中!!

【年間購読料】 1,200 円(年4回発行。送料・税込)

【申込方法】郵便局の払取扱票等を利用し、購読料を送金ください

通信欄に次の項目を記入いただきかメール等でお伝えください。①購読者氏名、②購読部数、③送付先住所、④電話番号またはメールアドレス、⑤開始を希望する号(例:2024 年夏号から)、

【口座】00180-0-212568、加入者名「日本勤労者山岳連盟事務局」

## 労山基金 2025年11月交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	入通院日数 死亡数
1	兵庫県	70代男性 3口	2024/11/10 11時00分頃	近畿地方その他 天狗岩・竜王山 落ヶ滝線	無雪期登山	転倒	登山道の浅く少しの水が流れている場所を歩いた際に、木株に躊躇倒し右膝を岩に強打した。	右膝蓋骨骨折・右膝蓋 骨術後感染症	入院20日 通院26日
2	東京都	50代女性 10口	2024/11/13 15時30分頃	奥秩父 瑞牆山 十一面末端壁	登攀	転・滑落	登攀中に落なし、岩に足を着いて負傷した。	右距骨不全骨折、 骨挫傷	通院27日
3	大阪府	60代女性 5口	2024/12/23 14時00分頃	六甲・金剛・和泉山系ゴ ロゴロ岩～浄水場までの 下山	無雪期登山	転倒	ゴロゴロ岩からの下山途中、枯葉の下の小石につまずき、体を支えようとして左手を付き、手首骨折。	左橈骨遠位端骨折	入院8日 通院13日
4	兵庫県	50代男性 10口	2025/01/12 14時00分頃	六甲・金剛・和泉山系鳥 帽子岩 タイムトンネルルート	登攀	転・滑落	タイムトンネルルートをプリセットリードしている時に、1ピン目にロープをかける前に転落し、臀部を強打し左足を打撲した。	臀部・左足打撲	通院2日
5	兵庫県	50代男性 10口	2025/01/12 11時00分頃	六甲・金剛・和泉山系 鳥帽子岩 北山林ルート	登攀	転・滑落	鳥帽子岳北山林ルートをプリセットリードで登り、2ピン目右の右足を乗せる核心部で落下。ロープは2ピン目までかかっていたが、落下距離が長く、棚の下まで落下した。その際、右太もも外側、右手薬指を打撲、右足首を捻挫した。	右太もも ・右手薬指打撲 ・右足首捻挫	通院2日
6	岡山県	60代女性 3口	2025/01/30 12時20分頃	中国・四国その他 熊山 備前市	無雪期登山	転倒	熊山のラクダ岩に向かう途中、木の根に足が引っかかり前面に転倒した。その際左肘を強く打撲した。痛みはあったものの特段の手当てをすることなく下山する。翌日も左肘の痛み、腫れも出て整形外科を受診、後日手術する。	左橈骨頭骨折・ 尺骨鈎状突起開放骨折	入院8日 通院50日
7	東京都	60代男性 10口	2025/03/26 10時30分頃	中部地方その他 金山 馬瀬ボレダリングエリア	登攀	転・滑落	岩のボレダリングにおいて着地時、左足首をひねり骨折。前傾した壁でランジに近いデッドでリップをとりに行くムーブであったのでクラッシュパッドに刺さるように弾かれ受け身をとれなかった。	左足関節内果骨折	通院15日
8	石川県	50代女性 3口	2025/04/12 12時40分頃	中部地方その他 大倉山登山道 標高920m地点	積雪期登山	転・滑落	アイゼン・ストック使用で大倉山登山。11:50下山開始、3番目で歩行中の12:40頃に、急斜面の雪面で足を滑らせ、そのまま2m程滑り落ち、ツリーホールに落ちて停止。ツリーホール下面の木で左わき腹を強打した。自力下山するも困難と判断し、救助要請を行ひへりで病院へ救助搬送。	左脇腹 肋骨4本骨折	通院5日
9	京都府	80代女性 5口	2025/03/22 15時45分頃	近畿地方その他 横山岳 湖北	積雪期登山	雪道の踏み 抜き	急斜面を下山中、雪面を踏み抜き雪穴に左足が埋まり、その時右足を捩じり右ひざ裏を痛める。安定した場所で応急手当、鎮痛・抗炎症のシップを貼り、鎮痛剤を服用。自力下山。病院でひざは軽い捻挫、衝撃で椎間板ヘルニアを発症。	腰椎椎間板ヘルニア	通院24日
10	愛知県	60代女性 5口	2025/04/16 10時頃	中部地方その他 立岩の10月ルート	登攀	転・滑落	立岩の10月ルートをリードしてテラスまで上がり、ロープを延ばそうとした際、落ちると危険だと感じ、テラスへ下りてから登り直した方が良いと考えクライムダウンを開始。左足元が見え無くなり、そこでずり落ちてしまい(50cmくらい)、その際、左足首が大きく外転した状態で勢いよくテラスに着地し左足を痛める。	左足関節捻挫	通院48日
11	長野県	60代男性 5口	2025/05/28 10時05分	西上州・妙義 桧沢岳 トラバース道	無雪期登山	転・滑落	トラバース道での段差のある岩場の下降で、岩に正対姿勢で右足を置こうとする際に左足を踏み外し、2m近く滑落。足から土の地面に着地し、後ろの方向に回転して止まる。	右アキレス腱断裂	入院12日 通院13日
12	愛知県	50代男性 5口	2025/06/01 10時30分頃	鈴鹿山系 雨乞岳・御在所岳 コクイ谷の沢	無雪期登山	肉離れの一 種	コクイ谷の渡渉のため、水から出ている岩を跳んで渡って行く時に、動作が不自然に大きくなり、左足ふくらはぎ部分にビシッというような痛みを感じた。その後、荷物をメンバーに持つてもらい比較的楽に下山。	左足ふくらはぎ部分 「筋膜損傷」	通院10日
13	奈良県	50代男性 1口	2025/06/08 11時00分頃	六甲・金剛・和泉山系六 甲山縦走路途中	無雪期登山	斜面を登つ た際、足を 捻じった	緩い斜面を登山中、右足の着地が斜めになり足を捻る。家に帰るまで疼痛がなかったが、夜から痛み出し、翌日には腫れる。捻挫だと思い一週間仕事後受診、右腓骨骨折と診断。	右腓骨骨折・右前距腓 靭帯断裂	通院13日
14	群馬県	60代女性 1口	2025/06/13 14時00分頃	東北その他 森吉山 ゴンドラ山頂駅手前	無雪期登山	転倒	森吉山下山中 ゴンドラ山頂駅手前10メートルぐらいの階段状の登山道で踏み外したのか前に転倒して顔面挫傷した。ゴンドラ事務所により救急車呼んどうが良いと言われ、同行者が要請して救急搬送され治療の結果入院。	鼻骨骨折・前歯欠損	入院3日 通院9日
15	新潟県	50代男性 10口	2025/06/07 09時55分頃	関東・甲信越その他 五頭山 標高 約500m付近	沢登り	転・滑落	高巻き途中でソールの剥がれかけた沢靴が滑り、目の前の木に思いっきりぶら下がった時に首に痛みを感じた。そのまま山行を続けたが首に痛みはあったものの段々と首の痛みが増し、左腕も痺れを感じる様になつたので下山後受診。	頸椎椎間板ヘルニア	通院50日

16	石川県	50代女性 3口	2025/06/21 11時10分頃	白山系白山 中宮道 シナノキ平避難小屋30分 手前	無雪期登山	転倒	中宮道を歩き中宮温泉に宿泊するイベントに参加。枝払い班として草刈りを行なった。登山道1400m付近の段差1mを降りる時に左足着地した際に足首を捻り骨折した。	左腓骨遠位端骨折・左 足前距韌帯断裂	通院11日
17	東京都	60代女性 5口	2025/08/16 11時00分頃	奥多摩・高尾・陣馬 あきるの市ぼんぼり川	沢登り	転・滑落	ぼんぼり川を遡行中、岩を掴もうとしたが足が滑って落下。その時に胸を岩にぶつけた。軽傷と思っていたが痛みが増してきたので病院で受診、第八肋骨骨折と診断。	第八肋骨骨折	通院3日
18	道央地区	50代男性 2口	2025/07/06 12時00分頃	北海道その他 札幌市札幌岳	訓練	虫・動植物	会山行ロープワーク訓練中にダニに噛まれ、帰宅後シャワーの際に気づき日曜当番病院を受診する。右胸下、右脇腹部を札幌中央病院にて皮膚切開及び投棄処置。	ダニ刺され（皮膚切開 術）	通院2日
19	富山県	50代男性 5口	2025/06/21 11時30分頃	北ア 槍・穂高周辺 ソウレタニ沢上谷 高山市上宝町	沢登り	転倒	最後部にいた自分は、前のメンバーが見えないくらい離れてしまったので急ぐあまり、ポットホールに足を踏み入れてしまった。バランスを崩して転倒したさいに右膝の靱帯を捻る。転倒した際はそれ程の痛みは無かったが帰宅後、夜から痛み出す。	右膝関節内側副靱帯 損傷	通院16日
20	埼玉県	60代女性 3口	2025/07/06 14時30分頃	奥多摩・高尾・陣馬 景信山 小仏峠下山中	無雪期登山	転倒	下山途中、左足を滑りやすい石に乗せた時に滑り、段差があったので、右足に体重がかかり、負傷。	右足首外果骨折	入院8日 通院10日
21	東京都	50代女性 5口	2025/07/13 10時30分頃	大菩薩連嶺 小金沢本谷大 樺沢出会い手前	沢登り	転・滑落	水際の1.5mほどの高さをトラバース中、左足が滑り水中に滑落。水中の岩に左足をぶつけた。	左足関節内果骨折	入院10日 通院7日
22	奈良県	50代女性 3口	2025/07/16 13時30分頃	近畿地方その他 大江山 下山道	無雪期登山	転倒	下山途中のザレ場で浮石を踏み転倒、転倒の際左手を着き受傷。翌日病院を受診したところ左手基節骨骨折と診断された。	左手基節骨骨折	通院6日
23	東京都	70代男性 3口	2025/07/08 10時00分頃	北ア 後立山連峰 白馬鎌ヶ岳 長野県白馬村	無雪期登山	転倒	猿倉への下山中に登山道で転倒。右脛を打撲し、負傷した。	右足腿部挫傷	通院4日
24	兵庫県	70代男性 5口	2025/07/27 09時00分頃	北ア 剣・立山周辺 薬師岳真川 岩井谷	沢登り	転・滑落	岩井谷ベースキャンプからの下山途中、4番目堰堤をロープを使い降りようとした時、指が堰堤（コンクリート）とロープに挟まり傷ついた。突き指と判断したが、6日経っても痛み腫れが引かず、病院で診察を受け剥離骨折を認識した。	左中指剥離骨折	通院8日
25	神奈川県	70代女性 3口	2025/07/27 12時30分頃	奥多摩・高尾・陣馬 御岳山 ロックガーデン	無雪期登山	転倒	昼食後歩き始めたときに木の根っこに足を取られて転倒。その際に岩の隙間に手をついて、靱帯損傷。	右ひじ靱帯損傷	通院10日
26	東京都	60代女性 3口	2025/08/07 07時00分頃	八ヶ岳連峰 赤岳 赤岳天望荘	無雪期登山	病気	天望荘内において腹痛・下痢発症。赤岳山荘より救助費用の請求有。	絞扼性痙攣性腸閉塞 (コウヤクセイユチャ クセイチヨウヘイソ ク)	入院11日 通院3日
27	石川県	50代男性 5口	2025/08/14 15時30分頃	白山系 白山 下山口別当出合と登山口 市瀬の間の林道	無雪期登山	転倒	下山後別当出合から市瀬まで小走りをしていた。その時、傷んでいた舗装道路につまずき転んだ。	右下腿挫滅創（感染を 伴う）	通院14日
28	道央地区	50代男性 2口	2025/08/24 15時30分頃	北海道その他 空沼岳 下山口付近標高約350M	沢登り	転倒	左足を滑らせて前向きに転倒した際に、倒れた反動で顔(口元)が地面に叩きつけられ、その衝撃を右前歯で受けた。歯科医院受信。	(顔面打撲の際) 右前 歯の打撲	通院2日
29	東京都	60代女性 1口	2025/09/01 14時30分頃	北ア 槍・穂高周辺 奥穂高岳 岳沢小屋に向かう登山道	無雪期登山	転倒	上高地から岳沢小屋に向かう急登個所で足元の岩を踏みはずして、仰向けに転倒。臀部と脇腹を強打したもののが痛みはなかったので、岳沢小屋まで登山を続行、食事して就寝、夜中に起き上がる事が困難なほど、右脇腹に痛みが出て身体が熱くなっていた。登山続行は断念して上高地まで下山。上高地診療所で受診、診断は確定できず、3日分の痛み止め飲み薬と温湿布薬を出してい東京に帰ってから受診、右側胸部の第9番及び10番の肋骨が骨折	第9番・10番肋骨骨折	通院5日
30	愛知県	70代女性 5口	2025/09/15 13時30分頃	中部地方その他 城山・児野山	登攀	転・滑落	福島城址の手前5メートルの登り斜面で、黒スズメバチの大群に襲われ、手の甲と首筋を10箇所以上刺された。アナフィラキシーショックを起こし、地面に倒れこんで、動けなくなってしまった。何人かで横向きに寝かせて名前を呼んだが、答えが返ってこなかった。しばらくしたら、意識が戻ったが、救急要請した。	蜂によるアナフィラキ シーショック	入院2日
29	東京都	60代女性 2口	2025/09/07 12時30分頃	大菩薩連嶺 ハマイバ丸	無雪期登山	転倒	ハマイバ丸から下ったところで、木の根を踏み、滑って転倒。右手をついた。	靱帯損傷/右手第2指第 一関節	通院1日
30	愛知県	60代女性 5口	2025/10/03 11時30分頃	北ア 剣・立山周辺 剣岳 早月尾根	無雪期登山	転・滑落	早月尾根約2800m地点、はしごを下降中に落下、約70m滑落。救助時点では意識があり、腰部の痛みを強く訴えていた。名前を問い合わせると頷いていた。意識があったのはヘルメット及びザックがしっかり装着されていたためと思われる。入院後意識不明。10/11死亡。	死亡（急性硬膜下血 腫・多発骨折・肺挫 傷・肝挫傷）	死亡1名

=個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

★交付特典：①一般登山道、②標高2000メートル以下、③標準コースタイム5時間以内、④日帰りの要件に該当するもの、⑤岩場・沢・雪山・海外は含まない場合は

定められた交付率の3倍を交付します。ただし、通常交付の10口分を交付の上限額とします。（労山基金規定・細則-3）

## ▲ 部・局・専門委員会の活動

### ■ 遭難対策部 高齢者の事故が踏み外し転倒・躓き、要注意。筋力トレーニングを

11月30日までに届いた事故一報は、21件21名。今月の事故原因は、転倒が8名、転・滑落が7名、体勢が1名、下山遅れが1名、落石が1名、高度障害が1名、その他が2名。登山形態は、無雪期が13名、登攀が4名、沢登りが1名、人工壁が2名、海外トレッキングが1名。傷病名では、骨折が15名、脱臼が1名、断裂が1名、疲労が1名、裂傷が1名、病気が1名、その他が1名。年齢では、20代が1名、30代が1名、40代が1名、50代が3名、60代が5名、70代が10名。

今月は、事故者の半数近くが70代。原因是踏み外し転倒・躓き転倒・滑って不意に落ちる・バランスを崩して転滑落。その他、下山中に歩行困難となり救助要請、海外トレッキングで高度障害によりヘリ搬送を依頼と高齢者の事故が増加傾向である。登攀系の事故を省いて転倒や転・滑落事故の7割が下山中の事故に繋がっている。関東でも10月から登山の筋力測定と筋力トレーニングの講習が開始された。兵庫県連盟が3年前より開始した筋トレ講習は、大きな効果が見えてきた。登高能力テストで安全速度を設定した中でもトレーニング前後でタイムが短縮出来たこと。普段の山行での身体トラブルが減少したこと。結果として、体力的に余裕のある登山が出来、筋力が強くなるとバランスも良くなり事故防止の一助に繋がっている。日頃の山の歩き方を見直すことと筋力トレーニングの必要性を考えて頂きたい。

(遭難対策部:石川昌)

### ■ 海外委員会 全国登山研究集会報告

12月9日(火)、Zoomで今年度の活動を振り返り、そして次年度の活動について話し合いました。  
①『2025海外山行オンライン交流集会(10/29)』について、参加/不参加を問わずアンケートを取りました。その結果、一般参加者(不参加者1名含む)から7件の回

答が寄せられました。その結果は次の通りです。

\*山行報告内容は? → 興味深く聞いた 6件(参加者全員)\*オンライン形式開催方法は? → 良かった 6件(参加者全員)\*どのような山行報告を希望しますか? → トレッキング、クライミング、高所登山、あまり人の入らないエリアと幅広い要望でした。

②2025年度の委員会活動は、上記交流集会開催に向けた準備を中心に毎月Zoomで開催し、その内容をJWAF journalや登山時報に委員が交替で投稿し掲載しました。

③次年度の委員会活動は、海外山行交流集会(対面)を11月28~29日に全国連盟事務所で開催することとし、詳細(記念講演者、報告者、報告内容等)については、毎月の委員会で話し合うことにしました。

④海外委員会活動をさらに活発化させるために、委員を募集しています。

全国連盟事務局または海外委員会まで問い合わせをお願いします。

(海外委員:安彦秀夫)

### ■ 労山基金運営委員会 細則[山行規定]の制度設計も検討予定

西日本のある会から「公的施設での室内講習会の怪我に劳山基金は適用されるか」との質問が寄せられた。当委員会は、山行中(登山口から下山口)での訓練なら劳山基金の対象になるが、搬出講習会の室内での事故は認められない回答した。

これに対して、地方連盟協議会の名前で意見書が届いた。主旨は「安全教育の為の実技を伴う講習会も交付対象とするように全国連盟理事会に提案したい」という内容だ。

来期37期は劳山基金の大きな見直しを予定している。当初設けられた劳山基金の制度と現状との登山業界を取り巻く環境が大きく変わっているので、上記の細則[山行規定]の制度設計も検討していきたい。

(劳山基金運営委員 武笠真次)